

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 波賀生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成30年8月22日（水）19時00分～20時40分	
開 催 場 所	波賀市民局 第2会議室	
委 員 長 氏 名	松本貞人	
委 氏 員 名	（出席者） 松本貞人、坂本幸子、中岡宰、松本繁信、平まきえ、安室美和、岡田周三、尾前和彦、小椋貴弘、中田浩一、可藤由紀、船積雅司、加藤智子、名畑健一	（欠席者） 中谷浩臣、志水温子
事 務 局 氏 名	宍粟市長：福元晶三 波賀市民局：坂口市民局長、長田副局長、上杉係長、松木専門員 企画総務部：坂根部長、水口次長 地域創生課：西嶋課長、藤原副課長、清水係長、大畑主査、幸長主事	
傍 聴 人 数	0名	
会議の公開・非公開の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開 会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ（市長） 4 委員長・副委員長の選任 5 報告・協議事項について 6 その他 7 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認	8月30日に松本委員長に確認	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1 開 会
市長	2 委嘱状の交付
市長	3 あいさつ 地域のみなさんが地域のことを考えてまちをつくっていく。将来のまちの方向性を出していく。大変なことだと思いますが、市もその出された方向にむかって進めていきますので、委員の皆様よろしくお願ひします。
事務局	4 委員長・副委員長の選任 検討委員会要綱の第6条に、委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定めるとあります。事務局案として委員長に、松本貞人委員、副委員長に、坂本幸子委員を提案します。いかがでしょうか。(拍手多数) それでは、松本委員長、坂本副委員長よろしくお願ひします。
委員長	波賀町の拠点はどうするのか。各種団体の代表である委員のみなさんがいるなどところで拠点づくりの話をしていただき、みなさんの意見を聞いていただき、その意見をこの場で反映できるようにしていきたい。行政へのお願いとして、委員会で出た意見や思いを是非とも拠点づくりに活かしてもらいたい。委員会解散後も、意見反映の縮小・変更・中止などがある場合は委員会メンバーに説明をお願いしたい。拠点整備には行政なりの考えもあると思うので、そういった意見も参考にしていきたい。波賀町の次代を担う世代の人のためにも頑張っていきたいと思います。
副委員長	幅広い年代の方が集まられており、みなさんと一緒に勉強しながら波賀町の人口維持にむけて、さらに住みよいまちづくりのために何が出来るかをみなさんと一緒に考えていきたいです。
事務局	5 報告・協議事項 (1) 委員会の運営に関する事項について ① 会議の傍聴と議事録の公開について ② 波賀生活圏の拠点づくり検討委員会便りの発行について ③ 委員会の所掌事務について 事務局の説明どおり①②③ (了承)

	<p>④ 全体のスケジュール（案）について</p>
委員長	資料には、H33年度4月供用開始とあるが、決定なのか。
事務局	検討委員会での意見をふまえた拠点施設の整備内容にもよるが、市としてはなるべく早くして完成したいと考えています。
委員長	ソフト面などの話は続く可能性もあると思うが、平成33年4月というのは拠点施設のことのみか。
事務局	そのとおりです。
	<p>(2) 地域の人口動態について</p> <p>(3) 「生活圏ネットワーク構想」について</p>
	事務局の説明どおり (2) (3) (了承)
委員	A コープが閉店した。買い物する場についてもこの場で話し合われるのか。
委員長	生活圏の拠点ということからも、当然議論していく内容だと思います。
	<p>(4) 意見交換</p> <p>① 波賀町の魅力について</p> <p>② 波賀町をより魅力ある地域にするための課題について</p>
各委員	<p>以下、検討委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆったりとした時間を過ごすことができ、高校生まで元気に育っているが、若者が帰ってきたくても働く場所がないので大学生がまた帰ってこれるようなまちにしたい。 ・ 自然や観光資源がたくさんある。 ・ 高齢化、過疎化が目立つが、文化協会などいろんな趣味をしてがんばっている人が多い。 ・ 高齢でもみんな多趣味で元気であるし、子どももゆったりと大きくなっており、子育てにはいい環境だと思う。 ・ 働く場所が少なくなってしまうか心配している。 ・ 子育てする中で自然が豊かでのびのびできるので波賀に戻ってきた。波賀

	<p>で子育てをしたいと思う人が増えるまちにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かい人が多いなど人の魅力が波賀にはあると思う。 ・若い人に帰ってきてもらう方策が必要だと思う。 ・自然が魅力的なことはいいことだが、そこに限定せず、都市部への PR は「なじみやすさ」などの魅力を発信するべきである。移住者が住みやすいと思える雰囲気づくりが大切だと思う。 ・生活圏の拠点づくりは建物だけではないと考えてよいか？ → ハード面とソフト面の両面があるのでいろんな視点から意見をしてもらいたい。また、ソフト面については今年度中の結論がありきではない。 ・観光資源、観光地の PR をし、外から人が来るような波賀にしたい。 ・将来、帰ってきてもらえる地域にしたい。 ・サッカーグラウンドがあればいいと思う。市民センターを活用した合宿をしているのでそういった施設は今後もあってほしい。 ・新たな建物をつくるのではなく、旧野原小学校や戸倉スキー場など既存の施設をもっと活用するべきである。 ・子どもに部活動の選択肢がないので生徒数が増えることが大事である。 ・定住を促進するなら買い物施設や交通網の充実が必要である。 ・旧野原小学校や旧道谷小学校の活用が望まれる。 ・都会の人は、交流を楽しみにしている。人間味がある波賀の人は魅力的だ。 ・観光目的で波賀を訪れる人は多く、リピーターも多い。また、一度波賀に来ると波賀を好きになるというまちの印象がある。交流ができていることが魅力的である。これらのことを移住・定住につなげていくことや買い物施設が無いことの解消をしていかなければならない。 ・スポーツ立市を掲げるのであれば、子どもたちのスポーツの選択肢を増やすこと、経験がある指導者の確保が必要になってくる。子どもにはやりたいスポーツをやらせてあげ、スポーツを通じてまちを盛り上げたい。 ・メイプルスタジアムのフットサルコートを屋根付きの全天候型ドームにしてほしい。 <p>委員長</p> <p>観光や自然、人の魅力、子育てに適している地域などの良いところの意見があった。次回は、課題を整理したうえで具体的にハード面・ソフト面をどうしていくかをまとめたい。事務局には旧野原小学校や旧道谷小学校の利活用状況が分かるものを示してもらいたい。</p> <p>事務局</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 各団体構成員の皆様への幅広い周知について</p> <p>各団体で本日の内容を共有していただき、次回以降の意見交換時に活かし</p>
--	---

事務局	<p>ていただきたいと思います。次回は意見交換を続けながら、「生活の利便性・賑わいの創出」をどうしていくかを中心に具体的に話し合っていたきたいと思います。</p> <p>(2) 次回の開催日程について 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 19 : 30 ~ 21 : 00 波賀市民局 第 2 会議室</p>
副委員長	<p>7 閉会</p> <p>いろいろと意見がありましたが何かあれば、事務局、委員長、副委員長に言っていただければと思います。本日はありがとうございました。</p>